

平成30年度第1回狭山市社会福祉審議会会議録

- 開催日時 平成30年4月19日(木)
午後3時30分から午後4時35分まで
- 開催場所 市役所 603・604会議室
- 出席者 14名
田辺会長、大内副会長、天谷委員、小川(晴)委員、藤吉委員、
坂本委員、寶積委員、宮島委員、渡井委員、矢吹委員、
小川(清)委員、三角委員、苅谷委員、大森委員
- 欠席者 1名
大場委員
- 事務局 19名
齋藤福祉子ども部長、
三ツ木長寿健康部長、
宮崎福祉子ども部次長(福祉政策課長兼務)、
宮岡長寿健康部次長(長寿安心課長兼務)、
田中福祉政策課担当課長、久保田生活福祉課長、昔農子ども支援課長、
前澤保育幼稚園課長、後藤保育幼稚園課保育所担当課長、淵泉障害者福
祉課長、田中青い実学園長、志村長寿安心課介護保険担当課長、関口保
険年金課長、關根健康づくり支援課長、湯浅長寿安心課介護事業担当主
幹、遠山福祉政策課総務・政策担当主幹、西脇トータルサポート推進室
長、堀越福祉政策課総務・政策担当主査、小田切福祉政策課総務・政策
担当主査
- 傍聴者 0名

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 職員紹介 福祉子ども部長、長寿健康部長から職員の紹介。(会議資料1)
- 4 報告事項
(1) 平成30年度当初予算と主な重点施策について (会議資料2)
福祉子ども部次長と長寿健康部次長より平成30年度当初予算と重点施策の
説明。

〈質疑応答〉

- 会 長 現在の待機児童数はどうか。
- 担当課長 平成30年4月1日現在で51名、昨年度の46名から増加してい
る。入所申込みの増加、既に入所済のこどもの継続の申請が大変多い。
3歳から幼稚園に行く方が減ってきている現象があり、待機児童が減

らない。今後、新たな保育所の整備も予定している。

委員 健康づくり推進事業費の中の健康遊具設置工事費はどこにどういったものをどれくらい設置する予定か。

担当課長 平成29年度は上奥富運動公園に背伸ばしベンチ、踏板ストレッチ、ブラブラストレッチ、大腿前屈測定、ダブル踏み台昇機、ボート漕ぎの6基を設置。遊歩道もあることからウォーキングをしている方にも利用してもらおうと、みどり公園課と調整して設置をした。今年度も予算は計上済みで設置を検討。高齢化率を参考に狭山台地区に6基設置する方向。

会長 現在いくつの公園に設置してあるのか。

担当課長 6基備え付けてあるのは上奥富運動公園1か所だが、一部設置してある公園は数か所ある。

会長 健康づくり支援課と高齢者の運動という観点で長寿安心課との連携はあるか。

担当部長 健康づくりは成人40歳以上から高齢者が主な対象。健康づくりと介護予防を兼ねて一体的な取組みが実施できるようにと考えている。

(2) 福祉健康関係計画の策定完了について

① 第4次狭山市障害者福祉プランについて担当課長から説明。

(会議資料3)

〈質疑応答〉

委員 施策に対する各課の自己評価が障害福祉に特化した施策を行ったという、実際に見受けられない高い評価が全体的についている。評価方法も含め改善していければよいという意見が懇談会で出た。

会長 65歳の精神障害者が増えてきているが、認知症と関係があるか。

担当課長 認知症については、認知症の種類によって障害者認定を受けられる場合と受けられない場合がある。最近は若い方の認定も多くなってきている。

担当部長 精神障害者は65歳以上の方が増えているのではなく、全体の総数が増えてきている。

会長 身体障害者の総数は横ばいで、その中でも65歳以上が7割を占めている。その理由は高齢者の運動能力の低下か。

担当課長 その通り

委員 障害者自体が高齢化しているということもある。

(2) 福祉健康関係計画の策定完了について

② 第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画について冊子のみの配付

(当日配付資料)

〈質疑応答〉

会 長 狭山台地域包括支援センターの現状について、経過説明をお願いしたい。

担当課長 狭山台地域包括支援センターを受託している法人から今年度受託できない旨の申し出があった。現在は富士見・中央地域包括支援センターの分室として運営している。分室の期間は狭山台地域包括支援センターの新たな受託先が決定するまで。

会 長 職員の人数も減ってしまい、今の状況が長引けば支障も出てくる可能性もあるので、よく状況把握をして対応してもらいたい。

(3) トータルサポート推進室の設置について

トータルサポート推進室の設置について、担当室長から説明。

〈質疑応答〉 特になし

(4) その他 特になし

4 閉会

〈終了〉